

令和元年度 第1回 広島県立大崎海星高等学校活性化地域協議会 議事要旨

【日 時】 令和元年7月24日(水) 15:00~16:00

【場 所】 広島県立大崎海星高等学校

【出席者】 (敬称略, 50音順)

石田 修次, 伊場田 真彦, 川本 一穂, 越田 賢一, 小林 弘志, 底押 史直, 高田 幸典,
取釜 宏行, 中原 健次, 松本 達彦 (委員 10名)
中西 正典, 倉田 雄司 (県教育委員会事務局 2名)

【議事概要】

1 開 会

- (1) 校長挨拶
- (2) 会長挨拶

2 説 明

「高校魅力化」の取組について

- (1) 「地域みらい留学」に参加した県外の保護者・生徒から、高い評価を得た。
- (2) 「みりよくゆうびん局」の活動及び取組を、フェイスブックで発信している。
- (3) 「学校見学ツアー(8/2・3)」では募集定数10組がすぐに定員に達した。遠方からの希望もあった。「オープンスクール(7/12)」では、大崎上島中学校だけではなく、近隣中学校からの参加もあり、高い関心を集めた。
- (4) 8/19・20に開催する「SCHシンポジウム西日本」において、地域・学校の取組並びに先進地域の関係者、教員、学生などと事例発表、情報交換を行う予定である。
- (5) 商工会主催の「島内インターンシップ」に、意欲のある生徒を参加させたい。

3 協 議

「活性化の方策」について

- (1) 生徒の活動など情報発信の機会の増加はよいが、内容を充実させる必要がある。魅力化に取り組み始めて5年が経過したが、島外出身中の生徒が半数を超えると、島の魅力を分かりやすく伝える方法が必要となる。「海星高校出身」と胸を張って言えるような生徒を育成してほしい。
- (2) 「大崎上島学」と教科の連携を考えている。全体的なレベルアップが必要である。
- (3) 本校の卒業生が社会で活躍する姿を、在校生が知る機会を設けたい。

4 まとめ

5 閉 会

会長挨拶

